

「夢を育み、感動・笑顔・歌声あふれる学校」



学校教育目標

おおらかで たくましく
進んで学ぶ子
地域とともに生きる子



新座市立東野小学校

令和5年12月 1日(金)

TEL:479-7280 ホームページ

FAX:482-6794 QRコード



12月10日は「人権デー」

校長 齋藤 伸一

11月28日(火)に、第54回南部事務所管内南地区小学校体育授業研究会が本校を会場に行われました。2年3組、3年1組、6年2組の学級が本校を代表として体育の授業を公開しました。市内外から約140名の教員が参加し、体育の授業実践を通して、指導法について研究協議を行いました。そして、埼玉県教育委員会、埼玉県立総合教育センター、南部教育事務所、朝霞市教育委員会、川口市教育委員会、新座市教育委員会から指導者をお招きし、体育指導についてご指導いただきました。この授業研究会を踏まえ、今後の東野小学校の体育指導の充実と資質向上を図り、子供たちの体力向上、運動好きな子の育成につなげていけるよう努力してまいります。

さて、12月10日は「人権デー」です。法務省HPには、次のように説明があります。昭和23年(1948年)12月10日、国際連合第3回総会において、全ての人民と全ての国とが達成すべき共通の基準として、「世界人権宣言」が採択されました。世界人権宣言は、基本的人権尊重の原則を定めたものであり、人権保障の目標や基準を初めて国際的にうたった画期的なものです。採択日である12月10日は、「人権デー」と定められています。この「人権デー」を踏まえ、11月29日(水)の全校集会では、人権をテーマに子供たちに次のように話をしました。

『人権というのは、全ての人が生まれた時から持っている、幸せに生きる、自分らしく生きる権利のことです。学校生活で考えると、学校で友だちと楽しく過ごしたり、一生懸命に頑張ったり、人から邪魔されなかったりすることではないかと思えます。もっと言えば、人から、いやなことや悪口を言われぬ、意地悪をされないこと。また、人には、いやなことや悪口を言わない、意地悪をしない、いじめをしない、いやな気持ちにさせないということだと思えます。また、誰かが困っていたら、自分ができることを考えて、みんなが支え合う学級、学年、学校にしていくことだとも言えます。別の言い方をすると、誰かからも自分が大切にされるからこそ、人は自分を大切にできるように、自分を大切にできるからこそ、人は他の人も大切にできます。そのためには、「ありがとう、すごいね、やさしいね、気にしなくていいよ、仲良くしよう…」など、言われると嬉しくなって、ついニコニコと笑顔になる言葉をたくさん使っていくといいと思えます。ぜひ、学校でも、おうちでも、いろいろな場所でも、心がけてほしいと思えます。』

人権を守ることは、世界中の誰もが、安心して幸せに毎日を過ごすことができること、そのために、世界中の人が自分を大切にすると同じように、同じ人間として他の人も大切にしようということだと思えます。人は誰かから大切にされるからこそ、自分で自分を大切にできるように、自分を大切にできるからこそ、他の人をも大切にできるはずで、子供は大人から「ことば」を学びます。まずは大人の会話の中で人を元気づけたり励ましてくれたりする、言われて嬉しくなる言葉を意識して使うように心がけたいものです。

むすびに、12月は、2学期最後の行事、音楽発表会を予定しています。4年ぶりの音楽発表会で、どの学級・学年も一生懸命、練習に取り組んでいます。練習の成果を発揮して、力いっぱい頑張っている姿をぜひご覧いただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

「全国学力・学習状況調査」結果について

1学期に6年生が取り組んだ「全国学力・学習状況調査」ですが、国語、算数ともに埼玉県の平均を若干下回る結果となりました。結果を分析すると、「書くこと」と「説明すること」について課題が見られました。今後、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することや式や言葉で説明することなどを身に付けていくように指導してまいります。また、質問紙調査において、昨年度低かった「学校に行くのは楽しいと思いますか」という質問に対して、「当てはまる」と回答した割合が5ポイント以上、県平均より上回りました。学校が子供たちにとって、楽しく魅力ある存在となるよう、これからも努めてまいります。